

令和3年度 豊橋市立幸小学校 学校経営方針

(1) 本校の教育目標 = 「笑顔あふれる元気な学校」が目ざす子どもの姿

○ 思いやりのある子【徳】 関わり合い、認め合い、感謝し合う温かさを感じ、互いの心を通わせる子「にこにこ」	○ すすんで学ぶ子【知】 わかる・できる喜びを求め、知的好奇心や向上心をもとに学び続ける子「わくわく」	○ たくましい子【体】 望ましい生活習慣を身につけ、ねばり強さと活力のある心と体をもつ子「ぐんぐん」
--	--	---

(2) 経営方針（中期目標）

「子どもを大切にはぐくむ学校、地域とともにある学校、教職員が信頼される学校」に

- ① 【豊かな心を育む】温かい人間関係づくり、自己肯定感を高め、感動を味わえる体験を推進する。
- ② 【確かな学力を育む】基礎・基本の定着、内発的動機をもとに学び続ける態度の育成の両立を図る。
- ③ 【たくましさを育む】困難に立ち向かい乗り越える経験を通して、体力・気力の充実を図る。
- ④ 【開かれた教育課程】目ざす方向性や資質・能力を地域社会と共有し、連携してその実現を図る。
- ⑤ 【信頼される教職員】安全・安心な学校づくり、教職員の資質および労働環境の向上を図る。

(3) 重点努力目標（短期目標）

評価項目		重点努力目標	評価指標例	学校評価アンケートにおける肯定群の割合
① 豊かな心	基本的な生活習慣の定着	・幸生活三則（時間を守る・気持ちのよい挨拶・黙って掃除）をはじめとする「こころ整う身のこなし」を家庭とともに推進する。	・日常における生活の様子や言動への表れ ・キャリアパスポートや掲示「美行木」の記述 ・Q-U検査の分析結果 ・図書室の利用状況	
	自他のよさを認め合う心の育成	・学級学年経営、学校行事などに、「心を耕し、ふっかふか」を合言葉にした自己肯定感と感動を味わえる方策を取り入れる。		
② 確かな学力	基礎・基本の定着	・日々の授業では、教師と児童が「本時の目標」の達成を板書で十分に意識し、実態に応じた的確な支援を施すことで、確実な習得を図る。	・授業におけるつぶやきや発言、振り返り等の内容 ・授業を終えた教師評価 ・単元末テスト、学力検査等の分析結果 ・タブレットの利用実績	
	主体的・対話的で深い学びの実現	・知的好奇心や向上心などをもとに、一人調べや練り合いによって追究を深め、生活や社会に生かす問題解決的な学習を実践する。		
③ たくましさ	年間を通した体力づくり	・みゆき体操、かけ足、長縄などの行事や体育授業の重点的な取り組みと外遊びの励行により体力の向上を図る。	・新体力テスト分析結果 ・外遊びした児童の人数	
	心身の健康の保持・増進	・「ぐんぐんカード」を活用し、家庭ぐるみで望ましい生活習慣の定着と健康管理を図る。 ・不登校や登校渋りは、組織で早期に対応する。	・生活点検「ぐんぐんカード」の分析結果 ・不登校児童数・欠席日数	
④ 開かれた教育課程	社会に開かれた教育課程	・学校の教育方針や実践成果について、各種おたよりやホームページを活用して積極的に発信し、教育活動の透明性を高める。	・ホームページの更新回数およびアクセス数 ・地域教育ボランティア等の登録数および参加数 ・学校評議員からの意見や関係者評価	
	地域との連携	・読み聞かせや子どもの安全見守りなど、地域の協力を得るとともに、地域の「人・もの・こと」を教材として活用する。		
⑤ 信頼される教職員	安心安全な学習環境づくり	・研修やOJTにより、教職員個々の危機管理意識を高める。記録の累積による児童理解といじめの起こらない集団づくりを進める。	・受傷による保健室利用数 ・生活アンケートへの記述内容、いじめ月例調査	
	組織体制の強化	・学年主任を中心とした組織的な対応と報告・連絡・相談・確認の徹底を図り、見通しが明確かつ風通しのよい職場づくりを進める。	・管理職との面談（最低3カ月に1回）での内容 ・ストレスチェックの結果	
	教職員の働き方改革	・客観的な勤務実態の把握と個々のマネジメントによって、働き方に対する一人一人の意識改革を進め、上限方針の遵守を目ざす。	・在校等時間調査の結果 ・年休等の取得状況 ・衛生委員会での意見	